

# 播磨町ダイジェスト

今年、台風の上陸や地震の発生により、県内はもとより全国各地で大きな被害が発生しました。被害を受けられた地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く穏やかな日々が戻ることを願っています。  
全国的な出来事の中には、私たちにとって身近なこととして、新札の発行がありました。皆さんにとって、どんな年だったでしょうか。播磨町ではこんなことがありました。

**1月**  
安心安全のまちづくりのために、  
あなたの地域でも始めませんか？  
「さわやかパトロール隊はりま」活動スタート

地域住民自らが1月に立ち上げた「さわやかパトロール隊はりま」は、防犯パトロールと美化運動、声かけ運動などの活動を通じて安心安全のまちづくり活動を続けています。

町では引き続き「さわやかな

環境まちづくり推進事業補助金制度」にて、防犯・交通・こみ・犬のふん、その他地域問題を地域で改善するための一定の活動に対して支援していきます。

16年度から、公募による「少年補導委員」が活動を始めました。青少年を犯罪から守るため、青少年のたまり場や危険箇所を中心にパトロールしています。少年の喫煙や夜遊びなどの非行行為の防止、犯罪から守ることを目的に啓発活動を行っています。

**4月**  
公募による  
「少年補導委員」  
が活動を開始



▲門にインターホン

**4月**  
子どもたちの安全のために  
小学校の門扉を施錠し、インターホンを設置

不審者が学校に侵入することを防ぐために、各小学校の門を施錠し、訪問者はインターホンで教職員が対応してから校内に入るシステムになりました。

**4月**

野添であい公園オープン  
楽しい噴水が人気

緑道であいの道と喜瀬川が交差する位置に、緑の芝生が広がる開放的な憩いの公園「野添であい公園」がオープンしました。木造の美しい屋根とガラス張りの明るい休憩室を備えたパークセンターには毎日、散歩の途中の一休みに、炉付きテーブルには家族や仲間とバーベキューを楽しむ人々が、絶えず集う姿が見られます。



▲真ん中なら、ぬれないかもね。

**2月**  
**3月**  
郷土資料館『MUSEUMに行きたい！』開催

2月28日(土)～3月21日(日)に郷土資料館で開催された美術展「MUSEUMに行きたい！」は「阪神・姫路美術館等合同展覧会」として開催されました。県内の美術館が所蔵する名画を一堂に揃えて観覧できる数少ない機会とあって、期間中大勢の方々でにぎわいました。



▶田村孝之介氏作品

**4月**  
スポーツ施設の申し込み窓口を  
「スポーツクラブ21はりま」に一本化

町内にあるスポーツ施設の利用申し込みを、「スポーツクラブ21はりま」が窓口となって一本化しました。利用者はどの施設にいつ空きがあるのか、1カ所に問い合わせるだけで把握できるようになります。

また、登録しているサークル数も多く、大会開催やスポーツ教室、イベントなどを数多く開催できるようになり、「健康づくり」「コミュニティづくり」に大きな力となっています。



▲緑化フェアもコーナー担当

クラブ21はりま」が事務局となり、事前の呼び掛けから当日のスポーツ教室開催、集計に至るまで150人のボランティアを総動員して実施しました。結果、町人口の78.7%の人がチャレンジャーに参加しました。

**6月**

播磨ふれあいの家  
愛称「多々良木山荘」リニューアルオープン

朝来町にある播磨ふれあいの家が愛称「多々良木山荘」としてリニューアルしました。

木もれ日がさわやかな中庭でバーベキューが楽しめるウッドデッキや、露天風呂が新設され、海の幸と朝来町の新鮮野菜をふんだんに使った料理自慢の宿になりました。

7月4日(日)に、リニューアルオープンスペシャルイベント「Standard Jazz Concert &



▲素敵なコンサートでした

**7月**  
**9月**  
JR土山駅前広場完成  
新しい町の玄関ができました

平成15年12月にJR土山駅舎が橋上化し、駅の南北を自由に往来できる通路が完成しました。

平成16年7月には、駅南広場に大きなシェルター（屋根）が設置されたロータリーが完成。

バスやタクシー乗り場が、雨の日でも快適に利用できるようになり、9月には駅北広場が完成し、南北ともバス停、タクシー乗り場、車イスでの乗降が楽にできる身体障害者車両専用の乗降スペースができ、「ふれあいのまちはりま」にふさわしい町の玄関となりました。



▲南側からもバス、タクシーが利用できるようになりました



新年が  
明るい年で  
ありますように！